

ほけんだより（調査票特別）



なぜ、整形外科（運動器）の検査をするの？

現代の子どもたちは運動不足による体力・運動能力の低下や運動のし過ぎによるスポーツ障害の二極化した問題が深刻化し、運動器の健康状態の把握や運動器疾患・障害を早期発見することが重要であると認識されています。これまでの調査研究から、何らかの運動器疾患・障害を有する子供たちが1～2割いることが推定されている事から学校検診で確認する事になりました。

『保健調査票』（別紙）の「整形外科」の欄に記載されている質問項目は、
下の具体的動作を参考にし確認しながら『保健調査票』に記入して下さい。

整形外科に関する質問項目の具体的動作

	両肩の高さに差がある
	両肩胛骨の高さ・位置に差がある
	左右の脇線の曲がり方に差がある
	前屈した左右の背面の高さに差がある
	体を前に曲げると腰に痛みがでる
	体を後ろに反らすと腰に痛みがでる
	片足立ちをすると体が傾いたり、ふらついたりする
	足の裏を全部床に付けて完全にしゃがむことができる
	掌を上に向けて腕を伸ばした時、完全に伸びない、完全に曲がらない（指が肩につかない）ことがある
	バンザイをしたとき、両腕が耳につかない

